

かたの



R4. 5. 31
形埜小学校
校長室より

地域に支えられて



「万国旗の魔法」 閉会式で触れましたが、「万国旗への思い」、今後、万国旗を目にしたら、「地域の支え」に心を巡らせてくれるといいな。◆ところで、形埜小学校の運動場には本当に万国旗が似合う。～というか、今流行の表現で言うと「映える」。「広がる青い空」と「学校を囲む深い緑」に色とりどりの万国旗は、圧巻です。この光景を目にしたら、心躍らないわけがない？◆前日、一輪車の練習のために運動場に飛び出た3年生。が、即戻ってきて、「校長先生、運動場がすごいことになってる！」と大興奮で報告しにきてくれました。その3年生の姿を見て、私まで心躍りました。(3年ぶりの万国旗だったので、3年生には初めての光景だったこともありますね。)このシーンはきっと、ずっと忘れないことでしょう。万国旗の魔法は、10年後も50年後もきっと解けないと思います。そう願っています。

「見せたかったこの光景」 早朝より、地域の方がたくさん準備をしてくださいました。みんなは、ずっとその光景を見ながら、教室に入っていました。

たくさんの方が、自分たちのために、この運動会のために力合わせている姿も、きっと一生忘れないシーンとなることでしょう。



「みんなが演技や競技に集中できたのは…」 多くの学校は、こういう準備や係も高学年や先生を中心に進めています。が、人数が少なく、しかも出番も多いみんなの場合は、こうやって力を貸していただかないと、成り立たないことがあります。◆消防団の方が、駐車場の案内を◆社会教育委員会の方・スポーツ委員の方・PTA 役員の方が重いテントやイスを準備◆睦会の方がサポートや応援を◆中学生が、器具係を…。～このサポートがなければ、この運動会は成り立ちません。どこの場面でも皆さん、「当たり前」のように笑顔で動いてくださっていました。

目の前で、テキパキとかっこよく動く先輩や大人の姿はみんなも「憧れ」を抱いたことでしょう。だから、みんなは、他の競技の時に自然に拍手をしたり、声援を送ったりしていたんでしょね。それも素敵でした！

